

## 第28回資金管理業務諮問委員会 議事概要

1. 日時: 2009年3月17日(火)13時30分～16時10分
2. 場所: 財団法人自動車リサイクル促進センター 第1・第2会議室
3. 出席者: 永田委員長、鬼沢委員、小島委員、辰巳委員、細田委員、米澤委員
4. 議題: ①平成21年度事業計画(案)、平成21年度収支予算書(案)及び平成21年度特定再資源化預託金等の出えんについて  
②資金管理業務規程の変更について  
③平成21年度再資源化預託金等運用計画(案)について  
④平成20年度第3四半期(4～12月)決算報告について  
⑤平成20年度第3四半期の運用の評価について  
⑥資金管理料金特別会計における資金の運用について  
⑦内部監査の結果について

### 5. 議事概要

※ 本議事概要では委員の主な意見、決定事項を中心にまとめており、資料に関連する質疑については後日、議事録を公表いたします。

#### (1) 議題①について

平成21年度事業計画(案)、平成21年度収支予算書(案)及び平成21年度特定再資源化預託金等の出えんについて、資料3-1から資料3-11を使用して事務局から説明。下記事項の修正を前提に了承された。

委員からは次のような意見があった。

<意見> (注)○は委員、●は事務局

- 新車販売台数および輸出返還台数は予算想定よりも下がる可能性があると思うが、下がった場合何らかの対応しなければならないのか。
- 再資源化預託金特別会計には特に大きな影響はない。資金管理料金特別会計には収入減となるが、台数に係る変動費分の支出減との相殺で影響は小さくなるので予算を補正する必要はない見込みである。
- 予算書上の新車販売台数は昨年12月の暦年予想であるが、その後のデータは何かあるか。
- 特にない。例年通常3月末に自工会が翌年度の予測数値を発表している。
- 広報活動については、基本方針は理解できるが、この予算で活動ができるのか。

- 今迄は広告マス媒体の利用金額が高く、多くの予算を振り向けてきた。来年度以降は、諮問委員やみなさんの協力を得つつ、広聴活動でユーザーの声を聞き広報活動や教育活動に地道に取り組んでいきたい。
- 公益法人認定に伴い2回決算をおこなうために監査報酬が増えるということだが、資金管理料金で負担すべきものなのかどうか検討して欲しい。
- 諸謝金支出の前年度予算との比較説明は適切に表現したほうがいい。
- 検討します。

(2) 議題②について

資金管理業務規程の変更について、資料4を使用して事務局から説明。案のとおり了承された。

(3) 議題③について

平成21年度再資源化預託金等運用計画(案)について、資料5を使用して事務局から説明。案のとおり了承された。

(4) 議題④について

平成20年度第3四半期の決算報告について、資料6-1から資料6-7を使用して事務局から説明。案のとおり了承された。

(5) 議題⑤について

平成20年度第3四半期の運用の評価について、資料7-1から資料7-2を使用して事務局から説明。案のとおり了承された。

(6) 議題⑥について

資金管理料金特別会計における資金の運用について、資料8を使用して事務局から説明。案のとおり了承された。

(7) 議題⑦について

内部監査の結果について、資料9-1から資料9-2を使用して事務局から説明。下記事項の修正を前提に了承された。委員からは次のような意見があった。

<意見> (注)○は委員、●は事務局

- 債券運用可能額の事項については、少額の超過であり、実際には問題が生じなかったにもかかわらず、誤発注したという印象を与えかねない

ので、資金管理法人の対応の欄にどのような形のミスか説明を追加して欲しい。

- 修正を検討します。

以上